

ベナン月報(2014年9月)

主な出来事

【内政】

- 8月31日, ナゴ国民議会議長が自身の選挙基盤であるボパ市で開かれた集会において, ヤイ大統領を批判する旨の演説を行った。
- 15日, 本年始めより6月まで大規模に実施されたストライキに関し, 労働組合側は, 労働組合側の要求に政府が満足に対応していないとして, 再度労使交渉を開始した。
- 21日, ウンベジ野党政党 PRD 代表は, 民放テレビで, このまま恒久電子化選挙人名簿 (LEPI) 改訂が行わなければ, 地方選挙どころか2015年3月に予定されている国民議会選挙も実施されない可能性が高い旨訴えた。

【外政】

- 3日, イスフ・ニジェール大統領がベナンを訪問し, ヤイ大統領と会談した。両者は, コトヌ・ニアメイ間鉄道整備計画を促進していく旨合意した。

【経済】

- 22日, 中国がエボラ対策として4億2300万FCFAを供与することを決定し, タオ駐ベナン中国大使及びバコ・アリファリ外相が署名式を実施した。

※下記内容は, La Nation 紙, Le Matinal 紙, L'Événement Précis 紙, La Nouvelle Tribune 紙及び L'Autre Quotidien 紙の記事を元に記載したものです。

【内政】

- ・ 8月31日, ナゴ国民議会議長が自身の選挙基盤であるボパ市で開かれた集会において, ヤイ大統領を批判する旨の演説を行った(2日, Le Matinal紙)。
- ・ 9月初旬, 少雨期の多雨により, ベナン南部ウエメ川流域の広範囲で洪水発生危険が高まり, ベナン政府が警戒度を最大レベルまで引き上げた(2日, La Nation紙)。
- ・ 2日, ベナン運輸業界関係団体が, 公共事業・運輸省に対し, 主要幹線道路で警察や憲兵隊によって不法に金銭を要求されるとして, 事態の是正を求めた。4日, 同団体は, ヤイ大統領にも同内容を訴えた(4日, 5日, La Nouvelle Tribune紙)。
- ・ 3日, セメ・ポジにおいてベナン人会社経営者が運転する車両が強盗に遭い, 数百万FCFAが盗まれた(4日, Le Matinal紙)。
- ・ 4日, パラクー・マランヴィル間を走行するバスが複数の車と接触した後横転し, 3名が死亡した(5日, Le Matinal紙)。
- ・ 同日, 児童売買を行っていたとして, 4人のベナン人が逮捕された。逮捕時, 同ベナン人らは, 10歳から17歳の8人の子どもを連れていた(5日, La Nation紙)。
- ・ 5日, コトヌ港で押収された61, 738キロに上るコカインやマリファナ等薬物がコトヌ市内で焼却処分された。これらの薬物は, ラテンアメリカやインド, ナイジェリアから持ち込まれている由(8日, La Nation紙)。

- ・ 6日、コメーロコサードボ間の62kmにわたる道路改修工事の開始式が行われ、ヤイ大統領が出席した。同工事の総事業費は、437億FCFAに上り、このうち250億FCFAは西アフリカ開発銀行(BOAD)により支援される(8日、La Nation紙)。
- ・ 10日、南アフリカ在住の米国人に対する金の取引が詐欺に当たるとされ、2011年4月以降、約40ヶ月にわたり勾留されていた実業家で元野党議員であるデジレ・ヴオドヌ(M.Désiré VODONOU)氏の釈放に伴い、野党UNが保釈を祝うセレモニーを実施した(11日、La Nation紙)。
- ・ 9日、コトヌ市において店舗強盗に入った7人の男が警官との銃撃戦の末逮捕された。強盗のうち一名は、憲兵隊であった(10日、Le Matinal紙)。
- ・ 10日、131人のリビア在住ベナン人が、リビアでの治安の悪化を理由にベナンに強制帰国されることが決定し、ベナン政府が手配した航空機によりベナンに帰国した(12日、L'Événement Précis紙)。
- ・ 15日、本年始めより6月まで大規模に実施されたストライキに関し、労働組合側は、労働組合側の要求に政府が満足に対応していないとして、再度労使交渉を開始した(16日、La Nation紙)。
- ・ 23日、ベナン政府は閣議で、LEPI指導監督評議会(COS/LEPI: Conseil d'Orientation et de Supervision de LEPI)の活動経費として20億FCFAを支出することを決定した(24日、25日、La Nation紙)。
- ・ 21日、ウンベジ(M.Adrien HOUNGBEDJI)野党政党PRD代表は、民放テレビで、このまま恒久電子化選挙人名簿(LEPI)改訂が行わなければ、地方選挙どころか2015年3月に予定されている国民議会選挙も実施されない可能性が高い旨訴えた(22日、Le Matinal紙)。
- ・ 23日、ケルにおいてバイクとトラックの衝突事故が発生し、一人の男性が死亡した(25日、Le Matinal紙)。
- ・ 30日、ベナン北部のバニコアラ市において、コレラの57症例が発見され、5人が既に死亡した由(30日、La Nation紙)。

【外政】

- ・ 3日、イスフ(M. Mahamadou ISSOUFOU)ニジェール大統領がベナンを訪問し、ヤイ大統領と会談した。両者は、コトヌ・ニアメイ間鉄道整備計画を促進していく旨合意した(5日、La Nouvelle Tribune紙)。
- ・ 4日及び5日、ピエバルクス(M.Andris PIEBALGS)開発担当欧州委員がベナンを訪問し、ヤイ大統領と会談した。両氏は、総額4700万ユーロに上る4案件の合意書に署名した(8日、La Nouvelle Tribune紙)。
- ・ 10日、ドバイでUEMOA投資会議が開催され、ヤイ大統領が出席した(10日、La Nation紙)。

【経済】

- ・ 1日, シアバターの2014-2015年期の収穫開始にあたり, アソバ(Mme Françoise Abraoua ASSOGBA)商業・商業・中小企業大臣がチャウルで開催された収穫開始式に出席した。今年の公定最低買取価格は, 1キロあたり75FCFAに設定される(2日, La Nation紙)。
- ・ 12日, UNDPによる2014年度の人間開発指標が発表され, ベナンは187国中165位であった(15日, La Nation紙)。
- ・ 13日, ここ数ヶ月ベナンの関税収入が減少していることを受け, クチェ(M.Komi KOUTCHE)経済・財務・民営化大臣が, ベナンの主要関税収入源となっているナイジェリア国境のセメクラケ及びトーゴ国境のヒラコジを訪問し, 税関職員に対する努力喚起を行った(15日, La Nation紙)。
- ・ 17日, 農業省において青年海外協力隊隊員による活動報告会が実施された(18日, La Nation紙)。
- ・ 22日, 中国がエボラ対策として4億2300万FCFAを供与することが決定し, タオ(M.Weiguang TAO)駐ベナン中国大使及びバコ・アリファリ(M.Naissou BAKO-ARIFARI)外相が署名式を実施した(24日, L'Événement Précis紙)。
- ・ 28日, BOADが, 農業振興及び農村地域における衛生改善を目的として210億FCFAの借款を実施することが決定し, BOADのアドヴェランデ(M.Christian ADOVERANDE)総裁とクチェ経済・財務・民営化大臣が署名式を実施した(29日, La Nation紙)。

(了)